

シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード Course Code	2KC1030001
授業開講年度 Year of Class	2018年度
授業形態 Course Mode	講義
授業名称 Class Name	民法総則1
テーマ Theme	
代表科目名 Name of Representative Subject	民法総則1
履修期 Term	秋学期
教員氏名 Name of Teacher	伊室 亜希子
開講キャンパス Campus	横浜
曜日 Day and Period	月曜3時限(秋学期)
授業概要 Course Description	民法典のうち、第1編総則の前半部分(第1条～第137条)、人、物、法律行為が本講義の対象となる(ただし法人を除く)。本講義から本格的に民法の解釈論を学ぶことになる。通説、判例に沿って講義を行う。
学習目標 Class Goals	民法は日常生活に密接に関係があると言われるが、それは必ずしも理解がたやすいということではない。民法独特の抽象的な議論の仕方や法律用語の正確な理解を、この講義を通じて身につけることを目標とする。
授業計画 Daily Class Schedule	<p>【第1回】ガイダンス</p> <p>【第2回】権利能力1(権利能力の始期・終期)</p> <p>【第3回】権利能力2(失踪宣告)</p> <p>【第4回】物、法律行為総論</p> <p>【第5回】法律行為の解釈、意思能力、行為能力</p> <p>【第6回】制限行為能力者制度1</p> <p>【第7回】意思表示の瑕疵1(心裡留保)</p> <p>【第8回】意思表示の瑕疵2(虚偽表示)</p> <p>【第9回】意思表示の瑕疵3(錯誤)</p> <p>【第10回】意思表示の瑕疵4(詐欺と強迫)</p> <p>【第11回】契約の有効要件</p> <p>【第12回】強行規定、公序良俗</p> <p>【第13回】無効・取消</p> <p>【第14回】条件・期限、民法の基本原則</p> <p>【第15回】定期試験とまとめ</p>
予習 Preparation for Class	毎回、次回の講義範囲を予告するので、教科書を一読してくること。
復習 Review of Class	毎回の授業終了後、自分なりにノートに要点をまとめておくこと(特に法律用語の定義をしっかりと確認すること)。
授業に関する注意事項 Remarks for Class	レジュメは、原則として当日の授業時間にのみ配布する。授業を欠席した者は、e-Learningからレジュメをダウンロードすること。私語禁止。著しく受講態度の悪い者は、試験結果にかかわらず、単位を認めないことがある。講義は、遅刻・早退をせずに毎回出席すること。出席状況は確認する。
教科書 Texts	佐久間毅『民法の基礎1総則[第3版]』(有斐閣)、教科書だけではなく、最新版の六法を毎回持参すること。持ち運びの便宜からポケット六法やコンパクト六法など小型のものがよい。

参考書 Reference Books	潮見佳男他編『民法判例百選1総則・物権(第7版)』(有斐閣、2015年)
成績評価の基準 Evaluation Criteria	定期試験90%、授業への参加度10%
関連URL Related URL	
備考 Notes	
添付ファイルの注意事項 Notice	
更新日時 Date of Update	2018年03月15日 10時04分37秒

戻る(X)

シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード Course Code	2KD1019000
授業開講年度 Year of Class	2018年度
授業形態 Course Mode	講義
授業名称 Class Name	環境科学の基礎2
テーマ Theme	
代表科目名 Name of Representative Subject	環境科学の基礎2
履修期 Term	秋学期
教員氏名 Name of Teacher	井頭 麻子
開講キャンパス Campus	横浜
曜時 Day and Period	月曜3時限(秋学期)
授業概要 Course Description	春学期に開講している「環境科学の基礎1」における学習内容を踏まえ、地球温暖化の仕組み、影響と対策について解説します。また、水の環境問題を取り上げるとともに、原子力に関するエネルギー問題についても触れます。この講義では、毎回パワーポイントを用いて、できるだけ平易に解説します。
学習目標 Class Goals	環境問題の現象やその原因を正しく理解し、今後一人一人が問題の解決法を模索していけるような知識を身につけることを目標とします。
授業計画 Daily Class Schedule	<p>【第1回】ガイダンス 【第2回】地球温暖化1 【第3回】地球温暖化2 【第4回】地球温暖化3 【第5回】地球温暖化4 【第6回】水資源の利用と水質評価 【第7回】水質基準と汚染物質 【第8回】生活排水の処理 【第9回】エネルギー資源 【第10回】原子力の基礎 【第11回】原子力発電の仕組み 【第12回】原子力の事故例 【第13回】核燃料サイクルと放射性廃棄物 【第14回】土壌汚染 【第15回】定期試験とまとめ</p>
予習 Preparation for Class	次回の講義で取り上げるテーマを毎回最後に提示するので、必要と思われる知識を予め調べて、授業内容を授業時間内にできるだけ理解できるように努めてください。
復習 Review of Class	講義終了後できるだけ早い段階で講義内容について改めて確認し、理解が難しかった内容に関しては図書館やインターネットを利用して理解することが必要です。
授業に関する注意事項 Remarks for Class	環境問題を自然科学の立場から取り扱います。受講生が文系であることを理解した上で講義を進めますので、予習復習をしっかり行えば問題ありません。自然科学に少しでも興味のある方の受講を期待します。
教科書 Texts	プリントを配布します。
参考書 Reference Books	特にありません。

成績評価の基準 Evaluation Criteria	定期試験90%、授業への参加度10%
関連URL Related URL	
備考 Notes	
添付ファイルの注意 事項 Notice	
更新日時 Date of Update	2018年02月16日 17時08分14秒

戻る(X)

シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード Course Code	2KE1010000
授業開講年度 Year of Class	2018年度
授業形態 Course Mode	講義
授業名称 Class Name	民法法の基礎2
テーマ Theme	
代表科目名 Name of Representative Subject	民法法の基礎2
履修期 Term	秋学期
教員氏名 Name of Teacher	阿部 満
開講キャンパス Campus	横浜
曜時 Day and Period	月曜3時限(秋学期)
授業概要 Course Description	私人間の紛争解決を目的とする民法法について、受講者が基本的考え方、基礎的内容の修得ができるよう、解説、演習をおこなう。民法、商法、会社法、民事訴訟法、民事執行法などが民法法の主な法律であるが、この授業では、代理、会社、不法行為、債権譲渡・有価証券、債権担保、相続について学ぶ。
学習目標 Class Goals	会社、不法行為等、本講義の対象となっている制度の社会的意義と法的仕組みが理解できるようになること。講義全体の具体的な目標については、授業の初回に指示する。各回の目標は、配付する質問集の内容を理解できるようになること。
授業計画 Daily Class Schedule	【第1回】代理 【第2回】会社1 【第3回】会社2 【第4回】会社3 【第5回】会社4 【第6回】不法行為法1 【第7回】不法行為法2 【第8回】債権譲渡 【第9回】有価証券 【第10回】まとめ・確認テスト 【第11回】債権担保1 【第12回】債権担保2 【第13回】民事裁判・判決と保全 【第14回】相続法 【第15回】期末試験とまとめ
予習 Preparation for Class	事前に配布する質問集を読み、事前に教科書の該当箇所を読んで、疑問点を挙げておく。2時間
復習 Review of Class	質問集の各事項に答えられるか、確認する。課題が出された場合は、かならず学習すること。2時間
授業に関する注意事項 Remarks for Class	授業に必ず出席すること。六法・教科書を持参すること。詳しくは教室で指示する。
教科書 Texts	

	今尾・大木・黒田『フレッシュヤーズのための民法法入門』(成文堂) 2017年に民法改正があったため、必要な箇所は配付資料によって補う。法学入門で指定した『日本の法』の該当箇所を使う場合もあるが事前に指示する。また、会社など
参考書 Reference Books	教室で適宜指示する。
成績評価の基準 Evaluation Criteria	授業への参加度30%、確認テスト20%、期末試験50%
関連URL Related URL	
備考 Notes	
添付ファイルの注意事項 Notice	
更新日時 Date of Update	2018年03月06日 21時36分29秒

戻る(X)

シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード Course Code	2KC1025000
授業開講年度 Year of Class	2018年度
授業形態 Course Mode	講義
授業名称 Class Name	憲法1-2/憲法1B/憲法B
テーマ Theme	
代表科目名 Name of Representative Subject	憲法1-2
履修期 Term	秋学期
教員氏名 Name of Teacher	東澤 靖
開講キャンパス Campus	横浜
曜日 Day and Period	月曜3時限(秋学期)
授業概要 Course Description	春学期の憲法1の授業に続いて、憲法が保障するさまざまな種類の人権の内容と、それが実際の社会でどのように保障されているのかを学んでいく。
学習目標 Class Goals	憲法が保障するさまざまな人権の内容と、それが現代社会で果たしている役割を理解する。
授業計画 Daily Class Schedule	<p>【第1回】 司法による人権保障と違憲審査基準</p> <p>【第2回】 思想・良心の自由</p> <p>【第3回】 信教の自由</p> <p>【第4回】 政教分離</p> <p>【第5回】 表現の自由:その性格と優越的地位</p> <p>【第6回】 表現の自由:その保護の広がり</p> <p>【第7回】 集会・結社の自由</p> <p>【第8回】 学問の自由と教育を受ける権利</p> <p>【第9回】 居住・移転の自由</p> <p>【第10回】 職業選択の自由と財産権の保障</p> <p>【第11回】 生存権の保障</p> <p>【第12回】 労働基本権の保障</p> <p>【第13回】 人身の自由と適正手続</p> <p>【第14回】 国務請求権、事例問題の解答方法</p> <p>【第15回】 定期試験および総括</p>
予習 Preparation for Class	あらかじめ指示された教科書の範囲と判例を読んでくること。その上で、理解できなかった点を、書き出してくること。(各回予習標準時間2時間)
復習 Review of Class	講義の要点を、教科書と判例を見直しながらまとめておくこと。予習で理解できなかった点を理解できたかどうか、確認すること。(各回復習標準時間2時間)
授業に関する注意事項 Remarks for Class	自分の理解をまとめたノートを作成していくこと。教員や同じ受講者に積極的に質問して、理解できない点をなくしていくこと。
教科書 Texts	芦部信喜・高橋和之『憲法(第6版)』(岩波書店、2015年)、小六法
参考書 Reference Books	戸松秀典・初宿正典『憲法判例(第7版)』(2014 有斐閣)
	授業への参加度20%、定期試験80%

成績評価の基準 Evaluation Criteria	
関連URL Related URL	
備考 Notes	
添付ファイルの注意 事項 Notice	
更新日時 Date of Update	2018年03月02日 11時20分42秒

戻る(X)

シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード Course Code	2MC1024001
授業開講年度 Year of Class	2018年度
授業形態 Course Mode	講義
授業名称 Class Name	3313日本政治論
テーマ Theme	
代表科目名 Name of Representative Subject	3313日本政治論
履修期 Term	秋学期
教員氏名 Name of Teacher	趙 星銀
開講キャンパス Campus	横浜
曜時 Day and Period	月曜3時限(秋学期), 木曜3時限(秋学期)
授業概要 Course Description	戦後日本における政治と思想の歴史を学ぶ。様々な歴史的イベントについて、同時代の人々がそれをどのように理解し、またどのように応答してきたかを検討する。
学習目標 Class Goals	1)戦後日本の歴史に関する基礎知識を習得する 2)「いま」の出来事を歴史的な文脈の中で理解する力を身につける
授業計画 Daily Class Schedule	<p>【第1回】ガイダンス</p> <p>【第2回】戦中と戦後の間1</p> <p>【第3回】戦中と戦後の間2</p> <p>【第4回】戦中と戦後の間3</p> <p>【第5回】「占領期」を考える1</p> <p>【第6回】「占領期」を考える2</p> <p>【第7回】「占領期」を考える3</p> <p>【第8回】「主体性」をめぐって1</p> <p>【第9回】「主体性」をめぐって2</p> <p>【第10回】「占領」と「講和」の間1</p> <p>【第11回】「占領」と「講和」の間2</p> <p>【第12回】「55年体制」前史</p> <p>【第13回】「55年体制」の性格</p> <p>【第14回】1956年の転換</p> <p>【第15回】二つの「戦後」</p> <p>【第16回】日ソ交渉と日米安保</p> <p>【第17回】「60年安保」と「市民」</p> <p>【第18回】池田内閣と高度成長期の諸相1</p> <p>【第19回】池田内閣と高度成長期の諸相2</p> <p>【第20回】戦後日本と韓国、沖縄、中国</p> <p>【第21回】「平和」をめぐる論争</p> <p>【第22回】高度経済成長の終焉 1</p> <p>【第23回】高度経済成長の終焉 2</p> <p>【第24回】「55年体制」の崩壊</p> <p>【第25回】1980年代以降の政党政治1</p> <p>【第26回】1980年代以降の政党政治2</p> <p>【第27回】「ポスト戦後」の到来1</p> <p>【第28回】「ポスト戦後」の到来2</p>

	【第29回】「ポスト戦後」の到来3 【第30回】まとめ
予習 Preparation for Class	e-learningにて次回の講義資料をダウンロードして事前に内容を確認すること(想定必要時間:2時間)
復習 Review of Class	各自の興味や疑問について参考文献を参照しながら整理しておくこと(想定必要時間:2時間)
授業に関する注意事項 Remarks for Class	特になし
教科書 Texts	特に指定しない
参考書 Reference Books	小熊英二『<民主>と<愛国>—戦後日本のナショナリズムと公共性』新曜社、2002年 ジョン・ダワー著、三浦陽一・高杉忠明訳『[増補版]敗北を抱きしめて—第二次大戦後の日本人』(上・下)岩波書店、2004年 佐々木毅ほか編『[増補新版]戦後史大事典1945-2004』三省堂、2005年
成績評価の基準 Evaluation Criteria	リアクションペーパー50%+期末試験50%
関連URL Related URL	
備考 Notes	
添付ファイルの注意事項 Notice	
更新日時 Date of Update	2018年03月15日 10時04分37秒

戻る(X)

シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード Course Code	2MF3020000
授業開講年度 Year of Class	2018年度
授業形態 Course Mode	講義
授業名称 Class Name	KC3005Gender and Society
テーマ Theme	
代表科目名 Name of Representative Subject	KC3005Gender and Society
履修期 Term	秋学期
教員氏名 Name of Teacher	LUM Soon May
開講キャンパス Campus	横浜
曜時 Day and Period	月曜3時限(秋学期), 木曜3時限(秋学期)
授業概要 Course Description	This course will explore the meaning of gender in contemporary society. It considers gender as an organizing force in social relations and social practices and examines differences and inequality that it gives rise to.
学習目標 Class Goals	Students will learn to evaluate ideas, critically examine theoretical perspectives and apply them to current issues. They will understand the intersection of gender and other social factors.
授業計画 Daily Class Schedule	<p>【第1回】Introduction</p> <p>【第2回】Basic concepts of Gender, sex and sexuality</p> <p>【第3回】Sexuality 1</p> <p>【第4回】Sexuality 2</p> <p>【第5回】Socialization 1</p> <p>【第6回】Socialization 2</p> <p>【第7回】Romantic love 1</p> <p>【第8回】Romantic love 2</p> <p>【第9回】Marriage 1</p> <p>【第10回】Marriage 2</p> <p>【第11回】Family 1</p> <p>【第12回】Family 2</p> <p>【第13回】Singlehood 1</p> <p>【第14回】Singlehood 2</p> <p>【第15回】Masculinity 1</p> <p>【第16回】Masculinity 2</p> <p>【第17回】Employment 1</p> <p>【第18回】Employment 2</p> <p>【第19回】Unpaid work</p> <p>【第20回】Body and gender 1</p> <p>【第21回】Body and gender 2</p> <p>【第22回】Aging 1</p> <p>【第23回】Aging 2</p> <p>【第24回】Violence 1</p> <p>【第25回】Violence 2</p> <p>【第26回】Media and politics 1</p> <p>【第27回】Media and politics 2</p> <p>【第28回】Social change 1</p>

	【第29回】Social change 2 【第30回】Writing the final paper and follow-up lecture
予習 Preparation for Class	Students must do the pre-class reading for each class. They are also expected to follow current events. Estimated 4 hours of self-study.
復習 Review of Class	Students have to review the lectures and readings and do any assignment. Estimated 4 hours of self-study.
授業に関する注意事項 Remarks for Class	Each topic will be covered in 1 or 2 weeks. There will be lectures and discussions.
教科書 Texts	The textbook will be given in the first class.
参考書 Reference Books	The reference books will be given in the first class.
成績評価の基準 Evaluation Criteria	Class participation 40%, Draft of paper 20%, Final paper 40%
関連URL Related URL	
備考 Notes	
添付ファイルの注意事項 Notice	
更新日時 Date of Update	2018年02月28日 21時18分11秒

戻る(X)

シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード Course Code	2MF1085000
授業開講年度 Year of Class	2018年度
授業形態 Course Mode	講義
授業名称 Class Name	KC1011Rhetoric & Research Writing B/KC1005Multi-Media Communication & Research W
テーマ Theme	
代表科目名 Name of Representative Subject	KC1011Rhetoric & Research Writing B
履修期 Term	秋学期
教員氏名 Name of Teacher	KOSAKA Kristina
開講キャンパス Campus	横浜
曜時 Day and Period	月曜3時限(秋学期), 木曜3時限(秋学期)
授業概要 Course Description	This course builds on the basics of academic essay organization and integration of sources established in the first year writing course. Students will further develop their writing skills and advance them into more complex structures for academic purposes.
学習目標 Class Goals	Develop strategies for comprehending and critically analyzing texts, typical forms of English academic essay organization, process writing, and citation practices; integrate own ideas in writing with those read, using texts as support for a position, arguing against texts, and/or presenting new alternatives or solutions; and produce original ideas informed by existing conversations on the topic.
授業計画 Daily Class Schedule	<p>【第1回】Course overview</p> <p>【第2回】Research skills and reliability of sources</p> <p>【第3回】Making reliable inferences 1</p> <p>【第4回】Discussion based on Reading</p> <p>【第5回】Making reliable inferences 2</p> <p>【第6回】Discussion based on Reading</p> <p>【第7回】Synthesizing texts 1</p> <p>【第8回】Discussion based on Reading</p> <p>【第9回】Synthesizing texts 2</p> <p>【第10回】Discussion based on Reading</p> <p>【第11回】Critical Analysis 1</p> <p>【第12回】Discussion based on Reading</p> <p>【第13回】Critical Analysis 2</p> <p>【第14回】Discussion based on Reading</p> <p>【第15回】Literature Review 1</p> <p>【第16回】Discussion based on Reading</p> <p>【第17回】Literature Review 2</p> <p>【第18回】Discussion based on Reading</p> <p>【第19回】Literature Review 3</p> <p>【第20回】Discussion based on Reading</p> <p>【第21回】Academic style and flow 1</p> <p>【第22回】Discussion based on Reading</p> <p>【第23回】Academic style and flow 2</p> <p>【第24回】Research presentations</p> <p>【第25回】Research presentations</p>

	<p>【第26回】Research presentations</p> <p>【第27回】In-class writing</p> <p>【第28回】Self-assessment and reflection</p> <p>【第29回】Review</p> <p>【第30回】Summary</p>
予習 Preparation for Class	Students should spend a minimum of 120 minutes to complete assigned texts and materials, taking notes, to obtain adequate scores on comprehension and content quizzes, and to participate effectively in discussion and other tasks.
復習 Review of Class	Students should spend a minimum of 120 minutes to review class notes and complete assignments to demonstrate mastery of the class content.
授業に関する注意事項 Remarks for Class	All students, regardless of their English language levels, must speak English at all times. No more than two undocumentable/unexcused absences are allowed. Absence over two classes is grounds for failure. Tardiness of three times equals one absence.
教科書 Texts	various readings provided by instructor
参考書 Reference Books	English dictionary
成績評価の基準 Evaluation Criteria	2 Multi-draft essays & 1 Multi-draft research paper 50% In-class mid-term and final essay exams (based on readings) 20% Homework and other assignments given by instructor 30%
関連URL Related URL	
備考 Notes	<p>This course normally caps at 20 students.</p> <p>Obtaining the TOEFL score of 575 is the minimum standard of this course.</p> <p>Plagiarism is grounds for failure of the course. Students will be taught strategies to avoid plagiarism.</p> <p>Office Hours: By appointment. Contact instructor.</p>
添付ファイルの注意事項 Notice	
更新日時 Date of Update	2018年03月13日 16時02分27秒

戻る(X)

シラバス検索 照会画面

シラバス検索画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報

授業情報

授業コード Course Code	2MF1075000
授業開講年度 Year of Class	2018年度
授業形態 Course Mode	講義
授業名称 Class Name	KC1011Rhetoric & Research Writing B/KC1005Multi-Media Communication & Research W
テーマ Theme	
代表科目名 Name of Representative Subject	KC1011Rhetoric & Research Writing B
履修期 Term	秋学期
教員氏名 Name of Teacher	KUWAYAMA Shunsuke
開講キャンパス Campus	横浜
曜時 Day and Period	月曜3時限(秋学期), 木曜3時限(秋学期)
授業概要 Course Description	This course builds on the basics of academic essay organization and integration of sources established in the first year writing course. Students will further develop their writing skills and advance them into more complex structures for academic purposes.
学習目標 Class Goals	Develop strategies for comprehending and critically analyzing texts, typical forms of English academic essay organization, process writing, and citation practices; integrate own ideas in writing with those read, using texts as support for a position, arguing against texts, and/or presenting new alternatives or solutions; and produce original ideas informed by existing conversations on the topic.
授業計画 Daily Class Schedule	<p>【第1回】Course overview</p> <p>【第2回】Research skills and reliability of sources</p> <p>【第3回】Making reliable inferences 1</p> <p>【第4回】Discussion based on Reading</p> <p>【第5回】Making reliable inferences 2</p> <p>【第6回】Discussion based on Reading</p> <p>【第7回】Synthesizing texts 1</p> <p>【第8回】Discussion based on Reading</p> <p>【第9回】Synthesizing texts 2</p> <p>【第10回】Discussion based on Reading</p> <p>【第11回】Critical Analysis 1</p> <p>【第12回】Discussion based on Reading</p> <p>【第13回】Critical Analysis 2</p> <p>【第14回】Discussion based on Reading</p> <p>【第15回】Literature Review 1</p> <p>【第16回】Discussion based on Reading</p> <p>【第17回】Literature Review 2</p> <p>【第18回】Discussion based on Reading</p> <p>【第19回】Literature Review 3</p> <p>【第20回】Discussion based on Reading</p> <p>【第21回】Academic style and flow 1</p> <p>【第22回】Discussion based on Reading</p> <p>【第23回】Academic style and flow 2</p> <p>【第24回】Research presentations</p> <p>【第25回】Research presentations</p>

	<p>【第26回】Research presentations</p> <p>【第27回】In-class writing</p> <p>【第28回】Self-assessment and reflection</p> <p>【第29回】Review</p> <p>【第30回】Summary</p>
予習 Preparation for Class	Students should spend a minimum of 120 minutes to complete assigned texts and materials, taking notes, to obtain adequate scores on comprehension and content quizzes, and to participate effectively in discussion and other tasks.
復習 Review of Class	Students should spend a minimum of 120 minutes to review class notes and complete assignments to demonstrate mastery of the class content.
授業に関する注意事項 Remarks for Class	All students, regardless of their English language levels, must speak English at all times. No more than two undocumentable/unexcused absences are allowed. Absence over two classes is grounds for failure. Tardiness of three times equals one absence.
教科書 Texts	various readings provided by instructor
参考書 Reference Books	English dictionary
成績評価の基準 Evaluation Criteria	2 Multi-draft essays & 1 Multi-draft research paper 50% In-class mid-term and final essay exams (based on readings) 20% Homework and other assignments given by instructor 30%
関連URL Related URL	
備考 Notes	<p>This course normally caps at 20 students.</p> <p>Obtaining the TOEFL score of 575 is the minimum standard of this course.</p> <p>Plagiarism is grounds for failure of the course. Students will be taught strategies to avoid plagiarism.</p> <p>Office Hours: By appointment. Contact instructor.</p>
添付ファイルの注意事項 Notice	
更新日時 Date of Update	2018年03月13日 16時02分03秒

戻る(X)